

プロフィール

- ・フルネーム：マリ・コバヤシ
- ・性別：女
- ・家族構成
 - 父：リュウセイ・ダテ
 - 母：マイ・コバヤシ
 - 異母妹：リトゥ・スウポータ
- ・属性：千の仮面を持つ私
- ・基本年齢：17歳
- ・所属：OG学園 高等部2年A組
- ・容姿：小柄、微乳、硬くてちまいケツ
- ・特技：演技、駅弁食らい
- ・愛称：マリ、女優、恐ろしい子

「人形なんて、私が被る何千何万の仮面のうちの、たった1枚だ」
「私な、お前という人間は嫌いだけど、お前の脚本は好きなんだ」
「お前ってやつはほんと、めんどくさい男だよな」

人物

リュウセイとマイの娘。
日本では重婚が禁止されているため、母親のコバヤシ性を名乗っている。
母親が2人いることについては、「よその家より2倍幸せだ」という意見で異母妹のリトゥと意見が一致しているらしい。
強力な念動力の持ち主だが、特に有効活用していない。

一人称は「わたし」。「～だ」など、そっけない喋り方をする。

かつては地味な性格だったが、ハザリアに女優として抜擢されて以降は口数が多くなる。
ハザリアとは終始口論が絶えない仲である。
女優としての才能は凄まじく、何度となく「恐ろしい子」と評されている。
「わたしがいないとなにするかわからない」という理由で常にハザリアの側にいる。

異常に駅弁が好きで、駅弁目当てにハザリアの旅行にくっついていく。
駅弁とは駅で売っている弁当のことであり、断じて他の意味はない。
旅先では大抵おかしな事件が起こり、デレたりデレられたりしている。

関連する人物

- ・リュウセイ・ダテ

父親。ロボットアニメオタク。

- ・マイ・コバヤシ

母親。たぶんもうどっぷりロボットアニメに浸っている。

- ・ラトゥーニ・スウポータ

義母。たぶんリュウセイ病は治っていない。

- ・ [リトゥ・スウポータ](#)

義母妹。メガネをかけている。

- ・ [ハザリア・カイツ](#)

演劇部部长。馬鹿笑いがうるさい。

- ・ [ゼラド・バランガ](#)

従姉妹のような存在。仲はいい。

- ・ [ユウカ・ジェグナン](#)

ダンスを覚えてくれた。どんなに嫌がられても「さん」付けで呼ぶ。